

横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業

環境影響評価方法書に関する補足資料

<補足資料内容>

- 1 資料「横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解」について
- 2 臨港幹線道路計画図
- 3 水質の予測手法に関する質問への回答について

平成 29 年 12 月

国土交通省関東地方整備局
横 浜 市

この資料は、審査会用に作成したものです。審議の過程で変更される可能性があるため、取り扱いにご注意願います。

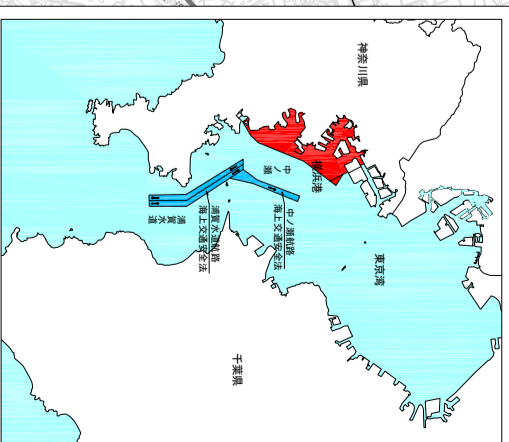
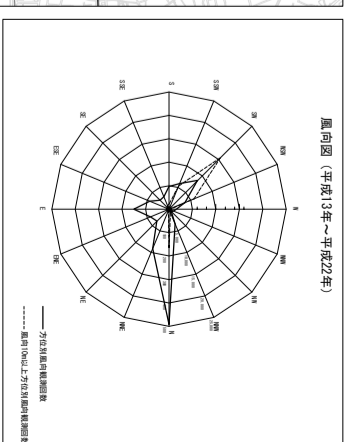
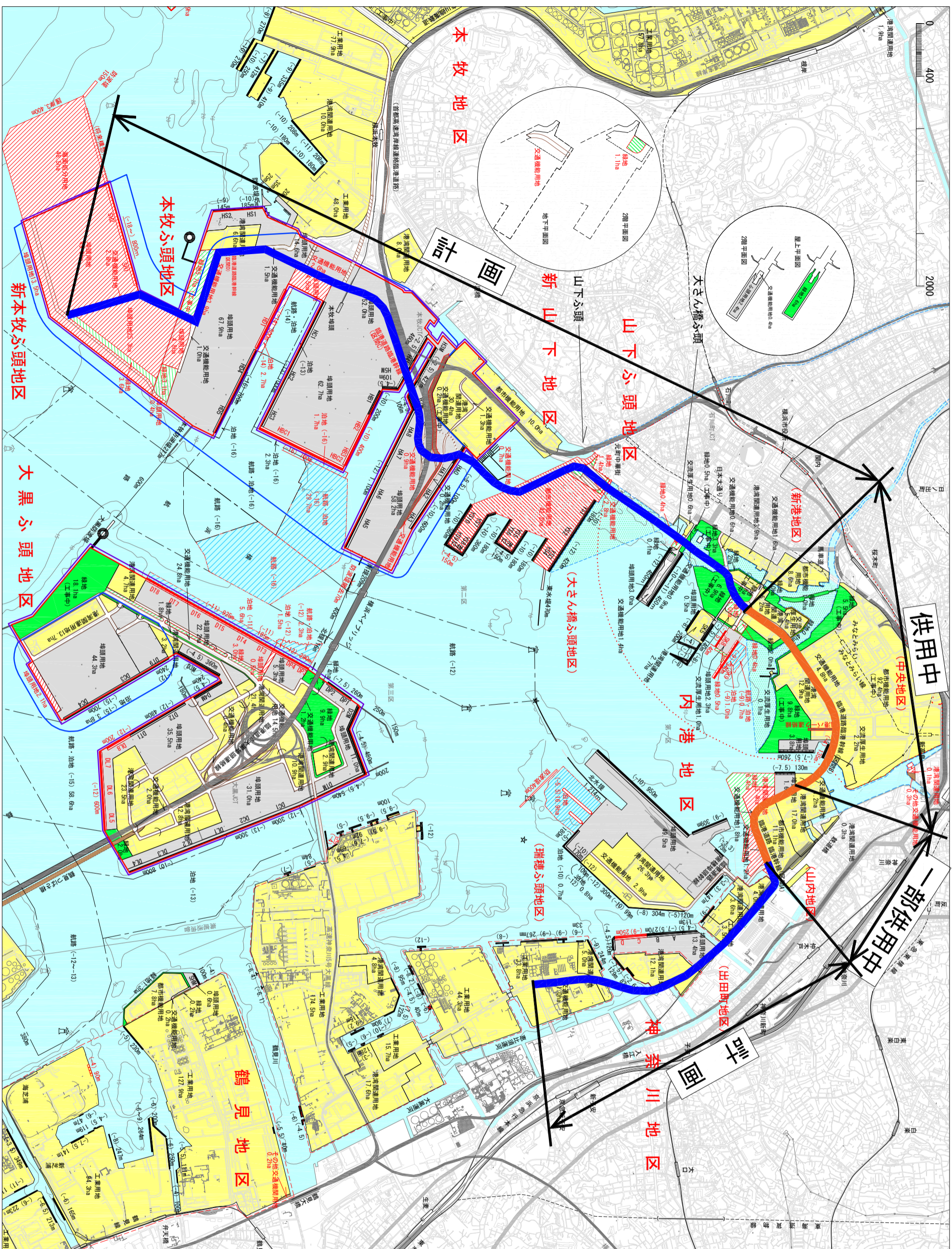
補足資料 1

資料「横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業 方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解」について

資料「横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業 方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解」について、次のとおり追記いたします。

表 3 方法書説明会（第 2 回：新山下地域ケアプラザ）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画	みなと病院付近の交差点を大型車両が通行することがあるため、この工事を行う際はご配慮願いたい。	<u>工事については、主に海上からの運搬を想定しています。供用後のコンテナ車等の大型車両については別途、臨港幹線道路を計画しており、物流交通の市街地への流入抑制を図りたいと考えています。</u>



凡例	
（線路・泊地）	（既定計画）
（防波堤）	（既定計画）
（公共岸壁）	（既定計画）
（公共岸壁（緊急防波堤適用））	（既定計画）
（公共岸壁（特殊貨物輸送用））	（既定計画）
（公共物揚場）	（既定計画）
（物資補給岸壁）	（既定計画）
（専用岸壁）	（既定計画）
（小型さん橋）	（既定計画）
（海釣さん橋）	（既定計画）
（埠頭用地）	（既定計画）
（緑地）	（既定計画）
（交通機能用地（臨港道路））	（既定計画）
（交通機能用地（その他道路））	（既定計画）
（その他用地）	（今回計画）
利用形態の見直しが必要な区域	
効率的な運営を特に促進する区域	
臨海部物流拠点の形成を図る区域	
効率的な流通業務を特に促進する区域	
自然の環境を整備又は保全する区域	
レクリエーション等活性化水域	
良好な景観を形成する区域	
外航旅客の良好な乗入環境を形成する区域	

補足資料 3

水質の予測手法に関する質問への回答について

【質問 1】

水質の予測手法の「物質収支」の意味について

【回答 1】

水質の予測では、流入負荷や底質からの溶出、海域の内部生産・消費を考慮した低次生態系モデルの使用を考えています。具体的には、下水処理場や河川等からの窒素・リンの流入量や、底質からの窒素・リンの溶出量、動植物プランクトンの影響等を考慮したモデルとなります。

【質問 2】

埋立地の存在により、中部水再生センター等からの下水道処理水の拡散等に影響があるか

【回答 2】

埋立地と中部水再生センターとの位置関係から、中部水再生センターの排水の拡散に対する直接的な影響は極めて小さいと考えています。なお、水質の予測に際しては、中部水再生センターや背後の河川等の流入負荷を設定したモデルにより、埋立地の存在に伴う流れの変化による水質の変化を予測します。